

事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別 就労継続支援A型

事業所名 長野県西駒郷 駒ヶ根支援事業部わーく西駒

第三者評価の判断基準

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【障がい者・児福祉サービス版】共通項目に係る判断基準による

<p>○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。</p> <p>「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態</p> <p>「b」評価・・・aに至らない状況=多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態</p> <p>「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態</p>	<p>コメントで、取り組み状況は■、良い事例は◎、取り組みの余地がある場合は☆で表示している。</p>
---	---

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	1 利用者の尊重と権利擁護	(1) 自己決定の尊重	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1 利用者の自己決定を尊重するエンパワメントの理念にもとづく個別支援を行っている。 ■ 2 利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重しながら、その発展を促すように支援を行っている。 ■ 3 趣味活動、衣服、理美容や嗜好品等については、利用者の意思と希望や個性を尊重し、必要な支援を行っている。 ■ 4 生活に関わるルール等については、利用者と話し合う機会（利用者同士が話し合う機会）を設けて決定している。 ■ 5 利用者一人ひとりへの合理的配慮が、個別支援や取組をつうじて具体化されている。 ■ 6 利用者の権利について職員が検討し、理解・共有する機会が設けられている。 	<p>■ 取り組み状況</p> <p>・意思決定支援ガイドラインを周知し、重点事業として支援している。利用者一人ひとりへの個別支援や意思決定を支える取り組みを実施している。</p> <p>☆就労継続支援A型として「信州まめ匠」で豆腐・豆乳を使った焼き菓子、食パン製造とハウスキーパー事業を実施しており、雇用時の利用者の意向を尊重している。一方、一般就労に移行するケースは限られている。一般就労を希望する利用者にはどのように寄り添った支援が可能か具体化することを期待する。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(2) 権利擁護	① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 7 利用者の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。 ■ 8 利用者の権利擁護のための具体的な取組を利用者や家族に周知している。 ■ 9 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。 ■ 10 原則禁止される身体拘束を緊急やむを得ない場合に一時的に実施する際の具体的な手続と実施方法等を明確に定め、職員に徹底している。 ■ 11 所管行政への虐待の届出・報告についての手順等を明確にしている。 ■ 12 権利擁護のための取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。 ■ 13 権利侵害が発生した場合に再発防止策等を検討し、理解のもとで実践する仕組みが明確化されている。 	<p>■ 取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「虐待防止対応規程」「虐待防止マニュアル」「西駒郷の行動規範」が整備され、虐待防止マネージャーを事業所で6名配置し、受付担当者を設置している。 ・虐待防止・身体拘束適正化委員会を設置し、全職員対象の所内研修の実施や外部研修への参加、不適切な支援の芽チェックを年1回実施している。 ・不適切な支援の芽チェックリストでの集計結果は委員会に報告され、事案により原因分析・対策が検討され、各課の職員間で共有されている。 ・通報受付・経過記録書、通報受付報告書、話し合い結果記録書、改善結果報告書の記録を整備している。身体拘束ガイドラインに沿った取り組みを徹底している。
2 生活 支援		(1) 支援の基本	① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 14 利用者の心身の状況、生活習慣や望む生活等を理解し、一人ひとりの自律・自立に配慮した個別支援を行っている。 ■ 15 利用者が自力で行う生活上の行為は見守りの姿勢を基本とし、必要な時には迅速に支援している。 ■ 16 自律・自立生活のための動機づけを行っている。 ■ 17 生活の自己管理ができるように支援している。 ■ 18 行政手続、生活関連サービス等の利用を支援している。 	<p>■ 取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画で本人の持っている力を大切にする視点をもって取り組んでいる。自律、自立生活の動機づけの機会が減っているが就労へ役立つ自活訓練事業を実施している。 ☆利用者のライフステージに応じ意思決定ガイドラインに応じ、一般就労を希望する利用者には、一日の自律・自立できる時間管理や生活習慣を身に付ける支援を期待する。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	b)	■ 19	利用者の心身の状況に応じて、さまざまな機会や方法によりコミュニケーションがはかられている。	<p>■ 取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意思決定支援ガイドラインを策定し、個々の状況に合わせて、絵カード・シンボル提示等の工夫、タイマー等の機器利用し、コミュニケーションをとり、会議にてPDCAを確認している。 ☆就労継続支援の利用者で、一般就労への希望者は、個別に更にコミュニケーションを高める取り組みを期待する。
	■ 20			コミュニケーションが十分ではない利用者への個別的な配慮が行われている。		
	■ 21			意思表示や伝達が困難な利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解するための取組を行っている。		
	■ 22			利用者のコミュニケーション能力を高めるための支援を行っている。		
	■ 23			必要に応じて、コミュニケーション機器の活用や代弁者の協力を得るなどの支援や工夫を行っている。		
		③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	b)	■ 24	利用者が職員に話したいことを話せる機会を個別に設けている。	<p>■ 取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意思決定ガイドラインを策定し、利用者の意思を尊重する支援を組織的に取り組んでいる。個別支援計画を作成する際のアセスメントの面談時の機会に個別に利用者の要望や意見を聴いている。また利用者が話したい時に、個別の機会を設けている。 ☆製造現場の作業所での限られた空間での作業となり、職員や利用者が連携して作業を行うケースが多い。そのため、利用者が職員に話せる機会を増やし、相互理解を深めることを期待する。
	■ 25			利用者の選択・決定と理解のための情報提供や説明を行っている。		
	■ 26			利用者の意思決定の支援を適切に行っている。		
	■ 27			相談内容について、サービス管理責任者等と関係職員による検討と理解・共有を行っている。		
	■ 28			相談内容をもとに、個別支援計画への反映と支援全体の調整等を行っている。		

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 29 個別支援計画にもとづき利用者の希望やニーズにより選択できる日中活動（支援・メニュー等）の多様化をはかっている。 ■ 30 利用者の状況に応じて活動やプログラム等へ参加するための支援を行っている。 ■ 31 利用者の意向にもとづく余暇やレクリエーションが適切に提供されている。 ■ 32 文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツに関する情報提供を行っている。 ■ 33 地域のさまざまな日中活動の情報提供と必要に応じた利用支援を行っている。 ■ 34 個別支援計画の見直し等とあわせて日中活動と支援内容等の検討・見直しを行っている。 	<p>■ 取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西駒郷には、体育館、グラウンド、プールがあり、利用者の希望やニーズにより、日中活動を多様化できる環境があり、西駒郷としての文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツに関する情報の提供を行っている。 ・個別支援計画は、就労支援を中心とした計画を作成し、定期的に支援内容等の検討・見直しを行っている。 <p>☆職員自己評価では、文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツに関する情報提供を行っている項目の評価が低かった。</p>
			⑤ 利用者の障がいの状況に応じた適切な支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 35 職員は障がいに関する専門知識の習得と支援の向上をはかっている。 ■ 36 利用者の障がいによる行動や生活の状況などを把握し、職員間で支援方法等の検討と理解・共有を行っている。 ■ 37 利用者の不適応行動などの行動障がいに個別的かつ適切な対応を行っている。 ■ 38 行動障がいなど個別的な配慮が必要な利用者の支援記録等にもとづき、支援方法の検討・見直しや環境整備等を行っている。 ■ 39 利用者の障がいの状況に応じて利用者間の関係の調整等を必要に応じて行っている。 	<p>■ 取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師・コンサルタントの活用による研修計画（初任者研修等）を作成し、各支援課の支援会議で職員間の支援方法等の検討と理解・共有を行っている。 ・アセスメントを見直し、構造化などによる再構築の検討をしている。 <p>☆製造現場の中で、複数の作業を行うため、各作業で利用者の特性を丁寧に把握し、製造現場であるが個別支援に力を入れ、良好な職員と利用者間の関係の調整を期待する。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(2) 日常的生活支援	① 個別支援計画にもとづく日常的生活支援を行っている。		<input type="checkbox"/> 40 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本としておいしく、楽しく食べられるように工夫されている。 <input type="checkbox"/> 41 利用者の心身の状況に応じて食事の提供と支援等を行っている。 <input type="checkbox"/> 42 利用者の心身の状況に応じて入浴支援や清拭等を行っている。 <input type="checkbox"/> 43 利用者の心身の状況に応じて排せつ支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 44 利用者の心身の状況に応じて移動・移乗支援を行っている。	※該当なし
		(3) 生活環境	① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 45 利用者の居室や日中活動の場等は、安心・安全に配慮されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 46 居室、食堂、浴室、トイレ等は、清潔、適温と明るい雰囲気を保っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 47 利用者が思い思いに過ごせるよう、また安眠（休息）できるよう生活環境の工夫を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 48 他の利用者に影響を及ぼすような場合、一時的に他の部屋を使用するなどの対応と支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 49 生活環境について、利用者の意向等を把握する取組と改善の工夫を行っている。	■取り組み状況 ・「信州まめ匠」の施設では、食堂（休憩室）、多目的室（相談室）、男女別の更衣室が整備されている。食品の製造を行っており、トイレ等の清潔、衛生管理に努めている。浴室はない。 ・生活環境については、生活支援員が配置され、利用者の日常生活の相談等の支援を行っている。栄養士は、利用者の食生活上の栄養支援を行っている。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(4) 機能訓練・生活訓練	① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。		<input type="checkbox"/> 50 生活動作や行動のなかで、意図的な機能訓練・生活訓練や支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 51 利用者が主体的に機能訓練・生活訓練を行えるよう工夫している。 <input type="checkbox"/> 52 利用者の障がいの状況に応じて専門職の助言・指導のもとに機能訓練・生活訓練を行っている。 <input type="checkbox"/> 53 利用者一人ひとりの計画を定め、関係職種が連携して機能訓練・生活訓練を行っている。 <input type="checkbox"/> 54 定期的にモニタリングを行い、機能訓練・生活訓練計画や支援の検討・見直しを行っている。	※利用者の日常生活活動は自立しているため機能訓練・生活訓練の実施はない。
		(5) 健康管理・医療的な支援	① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 55 入浴、排せつなどの支援のさまざまな場面をつうじて、利用者の健康状態の把握に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 56 医師又は看護師等による健康相談や健康面での説明の機会を定期的に設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 57 利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 58 利用者の体調変化等における迅速な対応のための手順、医師・医療機関との連携・対応を適切に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 59 障がい者・児の健康管理等について、職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。	■取り組み状況 ・個人健康管理簿で一人ひとりの健康記録を入力し、職員間で共有することで利用者の健康状態の把握に努めている。3か月ごとの体重測定、血液検査と食事内容の検討をしている。健康診断、定期的なカウンセリング(往診)、緊急通院の対応、歯科(往診)ブラッシング指導を実施している。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 60 医療的な支援の実施についての考え方（方針）と管理者の責任が明確であり、実施手順や個別の計画が策定されている。 ■ 61 服薬等の管理（内服薬・外用薬等の扱い）を適切かつ確実に行っている。 ■ 62 慢性疾患やアレルギー疾患等のある利用者については、医師の指示にもとづく適切な支援や対応を行っている。 ■ 63 介護職員等が実施する医療的ケアは、医師の指示にもとづく適切かつ安全な方法により行っている。 ■ 64 医師や看護師の指導・助言のもと、安全管理体制が構築されている。 ■ 65 医療的な支援に関する職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。 	<p>■ 取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療的な支援の実施は、服薬管理、慢性疾患、アレルギー疾患の利用者は医師の指示のもと「利用者個人健康管理簿」で管理し、医師と連携し、看護師を中心に適切な医療支援を実施している。 ・定期的な救急講習の実施し、職員が現場で対応できるように対応している。 ・服薬管理は、誤薬、飲み忘れ、副作用について、服薬マニュアルを作成し、マニュアルに従った薬の保管、服用、確認を徹底している。
	(6) 社会参加、学習支援	① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 66 利用者の希望と意向を把握し、社会参加に資する情報や学習・体験の機会を提供する等、社会参加への支援を行っている。 ■ 67 利用者の外出・外泊や友人との交流等について、利用者を尊重して柔軟な対応や支援を行っている。 ■ 68 利用者や家族等の希望と意向を尊重して学習支援を行っている。 □ 69 利用者の社会参加や学習の意欲を高めるための支援と工夫を行っている。 	<p>■ 取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者は、通勤しており、外出等の交流の制限は設けていない。 ・就労者のバイク免許の取得等の就労に必要な支援を実施している。 ☆就労継続支援A型の事業では、提供するサービスとして社会参加に資する情報や学習・体験の機会の提供は明示していない。そのため事業としての支援は限られている。 	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 70 利用者の希望と意向を把握し、地域生活に必要な社会資源に関する情報や学習・体験の機会を提供している。 ■ 71 利用者の社会生活力と地域生活への移行や地域生活の意欲を高める支援や工夫を行っている。 ■ 72 地域生活への移行や地域生活について、利用者の意思や希望が尊重されている。 ■ 73 地域生活への移行や地域生活に関する課題等を把握し、具体的な生活環境への配慮や支援を行っている。 ■ 74 地域生活への移行や地域生活のための支援について、地域の関係機関等と連携・協力している。 	<p>■ 取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画策定時の面談では、「わたしが望む暮らし調査」により本人の意向を把握し、地域移行希望者へは自活訓練を実施している。 ・各関係機関と連携しながら職場見学や体験実習、グループホームや他施設移行の利用者には施設訪問し、地域生活に向けての自活訓練を実施している。 ・就労についての勉強会や一般就労した元利用者の話を聞く機会を設け就労意欲の維持に取り組んでいる。 ☆職員の自己評価では、地域生活移行と地域生活支援の評価が低かった。
		(8) 家族等との連携・交流と家族支援	① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 75 家族等との連携・交流にあたっては、利用者の意向を尊重して対応を行っている。 ■ 76 利用者の生活状況等について、定期的に家族等への報告を行っている。 ■ 77 利用者の生活や支援について、家族等と意見交換する機会を設けている。 ■ 78 利用者の生活や支援に関する家族等からの相談に応じ、必要に応じて助言等の家族支援を行っている。 ■ 79 利用者の体調不良や急変時の家族等への報告・連絡ルールが明確にされ適切に行われている。 ■ 80 利用者の生活と支援に関する家族等との連携や家族支援についての工夫を行っている。 	<p>■ 取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌や写真等で伝えている。 にしこま祭の参加・交流、環境整備の参加（年1回）、保護者会と連携した行事を実施し、利用者の家族等に利用者の生活状況等を報告している。 ・オンライン面会（ZOOM等）ができるようになり、家族等と意見交換できるようになった。 ☆スコア表等を活用し、利用者や家族からの意見を聞き取りや、一般就労への希望については、様々な関係機関との連携、マッチング等の交流を期待する。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	3 発達支援	(1) 発達支援	① 子どもの障がいの状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。		<input type="checkbox"/> 81 子どもの発達過程や適応行動の状況等を踏まえた発達支援（個別支援）を行っている。 <input type="checkbox"/> 82 子どもの発達に応じて必要となる基本的日常動作や自立生活を支援するための活動や取組について、個別活動と集団活動等を組み合わせながら実施している。 <input type="checkbox"/> 83 子どもの活動プログラムについてはチームで作成するとともに、子どもの状況に応じた工夫や見直しを行っている。 <input type="checkbox"/> 84 子どもと保護者に対し、学校及び保育所や認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有、連携・調整をはかっている。	※成人対象施設のため、非該当
	4 就労支援	(1) 就労支援	① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 85 利用者一人ひとりの働く力や可能性を引き出すような取組や工夫を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 86 利用者一人ひとりの障がいに応じた就労支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 87 利用者の意向や障がいの状況にあわせて、働くために必要なマナー、知識・技術の習得や能力の向上を支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 88 働く意欲の維持・向上のための支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 89 仕事や支援の内容について、利用者への定期的な報告と話し合いを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 90 地域の企業、関係機関、家族等との連携・協力のもとに就労支援を行っている。	■ 取り組み状況 ・ 就労アセスメントにより、利用者の仕事の希望や意欲を聴き、障がいに応じた就労支援を実施している。 ・ 企業、他事業所見学、就業生活支援センター、就業支援ワーカー、ハローワークや上伊那圏域地域自立支援協議会と圏域内の関係機関との連携し就労支援をしている。 ・ 年1回一般就労に繋がる知識や技術の習得に向けた勉強会を実施している。 ・ サービス管理者が利用者と定期的に面談し支援の内容について話し合っている。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	b)	■ 91	利用者の意向や障がいの状況に応じた仕事時間、内容・工程等となっている。	<p>■ 取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の体験や意向や障がいの状況に応じた仕事時間・内容・工程等を個別支援計画として作成し、支援会議で検討している。 ・賃金（工賃）は就労継続支援A型の場合最低賃金で計算している。 ☆最近の最低賃金は毎年引き上げられ改定されているが、最低賃金を上回る取り組みや工夫を期待する。 ☆食品衛生上必要な消毒等に使用する次亜塩素酸ナトリウムを利用者が使用する場合は、労働安全衛生上、SDS（安全データシート）を事業者内に置き、いつでも適切な対応ができるよう周知することを期待する。
				■ 92	利用者が選択できるよう、多様な仕事の内容・工程等を提供するための工夫を行っている。	
				■ 93	仕事の内容・工程等の計画は、利用者で作成するよう努めている。	
				■ 94	賃金（工賃）等を利用者にわかりやすく説明し、同意を得たうえで適切に支払われている。	
				■ 95	賃金（工賃）を引き上げるための取組や工夫を行っている。	
				■ 96	労働安全衛生に関する配慮を適切に行っている。	
		③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	b)	■ 97	職場や受注先の開拓等により仕事の機会の拡大（職場開拓）に努めている。	<p>■ 取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上伊那圏域地域自立支援協議会や・職場体験の実施等を通じて、関係機関と定期的に情報交換し仕事の機会の拡大に努めている。 ・就労に向けて希望する利用者には「社会生活スキルトレーニング」を通じての訓練、自活訓練、自立生活支援を通じて地域移行を促している。 ☆一般就労への移行者が0である。地域移行後も職場、地域に馴染むまでのアフターフォローの取り組みについて対応しているが、継続した地道な取り組みを期待する。
				■ 98	障害者就業・生活支援センターやハローワーク等との連携を定期的かつ適切に行っている。	
				■ 99	利用者の障がいの状況や働く力にあわせて、利用者与企业とのマッチングなどの就職支援を適切に行っている。	
				■ 100	就労後の利用者と職場との関係づくりなど、職場定着等の支援を必要に応じて行っている。	
				■ 101	利用者や地域の障がい者が離職した場合などの受入や支援を行っている。	
				■ 102	地域の企業等との関係性の構築や障がい者が働く場における「合理的配慮」を促進する取組・働きかけを行っている。	